

福岡看護大学 質の高い看護専門職養成を目指し開学

開学記念式典・祝賀会

「国民から信頼され、愛される
看護職を」福岡学園に新大学誕生

本学園が地域医療の質向上と健康長寿社会実現へのさらなる貢献を果たすことを目的に建設中だった「福岡看護大学」が完成し、2月2日に竣工式が、4月1日には開学記念式典が行われました。同式典には福岡県 大曲昭恵副知事、福岡市 荒瀬泰子副市長をはじめ、自治体・臨地実習病



院の関係者らが列席し、水田祥代理事長は、同大学が無事開学したことを祝い、「設置認可を受けるまでの間、紆余曲折ございましたが、福岡県及び福岡市の行政機関や福岡県・福岡市医師会、看護協会をはじめ、実習生を受け入れていただく多くの病院、施設の皆様のご理解と支援に支えられ、今日の日を迎えることができました。この場をおかりしまして御礼申し上げます。」と協力いただいた方々に感謝の意を述べました。

平成29年度入学式

新キャンパスで「新たな歴史築く」
第1期生1119名が誓う

4月6日、福岡看護大学101講義室において、同大学の平成29年度入学式が執り行われ、第1期生1119名が保護者や来賓らの祝福を受けて式に臨み、新たな学校での第一歩を踏み出しました。

窪田恵子大学長は、「看護職を

目指すという同じ目標を持った仲間との出会いを大切に、この4年間、夢の実現に向けて力の出し惜しみをせず、自分の可能性を信じ、有意義で充実した生活を過ごしてください。歴史に残る1期生となるよう期待しています。」と新

入生を激励しました。新入生を代表し、木戸多麻希さんが「福岡看護大学に1期生として入学することを誇りとし、常に勉学に精進し、学生の本分を全うすることを誓います。」と新生活への誓いの言葉を述べました。



完成した福岡看護大学校舎
校旗掲揚台／初代福岡歯科大学附属病院
看護部長 野見山 泉様(旧姓:山村様) 寄贈



未来が求める新しい「看護学」を学ぶための
最新設備を充実させた新校舎

福岡看護大学は、地上4階建てで看護実習室・講義室・情報図書館等を完備しています。正面玄関を入れば吹き抜けのエントランスホールが学生を出迎え、正面から2階へと続く大階段の上から近代看護の生みの親、フローレンス・ナイチンゲールのステンドグラスがあなたかく見守ります。



学生らを見守るフローレンス・ナイチンゲールのステンドグラス
グランドピアノ／福岡歯科大学同窓会 寄贈
ステンドグラス／ステンドグラス工芸家 白井定一 氏 作



3層吹き抜けの爽やかなエントランスホール



南に面した明るい講義室



ベッド、沐浴槽、ADL(日常生活動作)コーナー等を完備した実習室



専門図書等が充実した情報図書館



情報処理実習室



学生ラウンジ